

アトツギ

定員50名

参加費
無料

2025
2.12 Wed

支援セミナー

in
広島

安藤建設株式会社
取締役営業部長 安藤 雄紀氏



PANELIST

法律事務所Lux Linxs
代表パートナー弁護士 鈴木 正靖氏



PANELIST

一般社団法人
代表理事 山野 千枝氏
ベンチャー型事業承継



MODERATOR

※登壇者は予告なく変更することがありますのでご了承ください

アトツギベンチャーに関心のある事業者、支援機関の方
アトツギ支援に関心を持つ自治体、金融機関、支援機関の担当者 創業・ベンチャーに関心のある方
＜ 特に以下の方はオススメ！！ ＞
！ 家業を引継ぐ予定（引継ぎ済み）の後継者 ！ 家業を引継ぐか迷っている後継者候補
！ 家業を引継いでほしい代表者

このように方に
オススメ！

- 日 時 2025年 2月 12日(水) 14:00～18:00
- 会 場 エールエールA館6階 ROOM 4
- 開催方法 現地開催のみ

申込方法

<https://forms.office.com/r/8p3fhfhfwH2>

お申し込みは二次元コードから▶▶



申込期限

2/10

主 催 中国経済産業局

運 営

株式会社YMFG ZONEプランニング

詳細は裏面をご覧ください！

アトツギベンチャーとして活躍している事業者と先代経営者、アトツギベンチャーを目指している事業者とその支援者を登壇者として招き、トークセッションにてそれぞれの本音を聞くことで、ご参加いただく後継者様・支援者様のアトツギベンチャーへの挑戦・支援の機運醸成を図るとともに、ネットワーキングの機会を創出します！

PROGRAM

14:00 オープニング

14:15 先代&アトツギ&支援者向けセミナー

15:00 第1部 トークセッション
先代×アトツギによる親子セッション

16:00 第2部 トークセッション
アトツギ×支援者によるセッション

17:00 ワークショップ&発表

17:50 クロージング

18:00 有志による交流会（任意参加）
※交流会参加の場合は別途費用をいただきます。
詳細はお申込み後にご案内します。

第1部

先代×アトツギによる親子セッション

安藤建設株式会社



代表取締役社長
安藤 繁之氏

今年で97年目を迎える地域建設業の3代目。常識に囚われず、常に進化を目指し、これまでに飲食事業やエネルギー事業など多数の新事業を展開。「地域のインフラは未来永劫我々が守り続ける」という強い信念のもと、土木建築業を軸とした社業のみならず業界団体や地域団体においても要職を務め、多面的に地方創生に取り組んでいる。



取締役営業部長
安藤 雄紀氏

大学卒業後2017年に安藤建設に入社。役員内でより社員に近い立場として、社長と社員との双方向のコミュニケーションを通じ、会社組織の改善に取り組む。持続可能な組織基盤の構築を図り、企業理念の策定やロゴマークの刷新など、2027年の創業100周年を見据えた新しい企業文化の定着を進め、会社に新しい風を吹き入れる。

第2部

アトツギ×支援者によるセッション



株式会社土田化学
経営企画室 室長
土田 翔大氏

株式会社土田化学の4代目アトツギ。同社は兵庫県丹波市に本社を置く、創業75年のプラスチック部品メーカー。2024年8月に、丹波エリアにある見逃されている資産を活用し、「森のフォトスタジオ〜丹波〜」を開業。日本全国のコスプレイヤーをターゲットにサービスを提供している。



法律事務所Lux Linxs
代表パートナー弁護士
鈴木 正靖氏

京都大学法科大学院卒業後、西村あさひ法律事務所にM&A等の企業法務に従事。その後、(株)資生堂の経営戦略系部署への出向やアメリカ留学を経て独立し、法律事務所を経営。弁護士の枠を超えた行動力やビジネスセンスに高い定評がある。自らが製造業のアトツギであったことから、アトツギ支援に情熱を注ぐ。

MODERATOR

一般社団法人ベンチャー型事業承継

代表理事 山野 千枝氏

1969年生まれ。関西学院大学卒業後、ベンチャー、コンサル会社を経て、スタートアップ・中小企業支援拠点「大阪産業創造館」の創業メンバーとして2000年より参画。ビジネス情報誌の編集長として多くの経営者取材に携わる中、中小企業の後継者によるイノベーションに着目。中小企業とスタートアップの中間領域「アトツギベンチャー」を日本のカルチャーにするというミッションを掲げ、2018年に一般社団法人ベンチャー型事業承継を設立。承継予定者の新規事業開発や業務改善を支援する。



お問合せ先
【運営事務局】

株式会社YMFG ZONEプランニング

下関市竹崎町4-2-36

TEL : 080-7417-4397

担当 : 三村・西田